

2k-5100

禁帯出期間

54.8.23 - 8.30

数理解析研究所講究録 数研図書室

偏微分方程式の解の構造の研究

ス
1、
8

京都大学数理解析研究所

1979年7月

京都大学

2704201

図書

数理解析研究所

偏微分方程式の解の構造の研究

研究集会報告集

1979年2月13日 - 2月15日

研究代表者 松浦重武

目次

1. The spectrum of the Laplacian and smooth deformation
of the Riemannian metric 1

東大理 谷川政雄

2. 熱核に対する Hadamard 変分公式と Laplacian の
固有値 14

東大理 小沢真

3. 面積 ∞ の領域における Laplacian の固有値分布 33

京大理 浅倉史興

4. Leray-Volevich Systems と Gevrey class 44

筑波大 数学 梶谷邦彦

5. 主部が定係数双曲型である作用素について 69

筑波大 数学 若林誠一郎

6. 弱双曲系の基本解について 86

大阪府大 総科 新開謙三

谷口和夫

7. 定数係数の方程式に対する C^∞ - Goursat 問題
 について97
 京大 理 長谷川幸子
8. 定数係数偏微分方程式の解の波束について125
 京大 数理研 西和田公正
9. Sur les ondes de surface de l'eau137
 阪大 理 鹿野忠良
 京大 工 西田孝明
10. 放物型発展方程式の近似定理
 — 有限要素法などへの作用素論的アプローチ165
 東大 理 鈴木 貴
11. 擬微分作用素の L^p - 有界性189
 筑波大 数学 村松寿延
 阪大 教養 長瀬道弘
12. ある種の擬微分作用素とその準背円性への応用208
 東京電機大 理工 荒牧淳一